

特別支援学級 音楽科学習指導案

令和元年6月26日（水曜日）第2時限（さざんか2組）

指導者（T1）平賀 真司

（T2）長谷川 義弘

1 単元 リズムとなかよし

2 指導計画（8時間完了）

時 数	1	2	3	4	5	6	7	8
以下の学習内容を、1チャンク10分程度、1パーツ5分程度に組み合わせて行う（1時間4チャンクまで）								
チ ヤ ン ク の 内 容	速度に 合わせ た表現	楽曲の 気分を とらえ た表現	楽曲の 気分 に 合わせ た表現	拍の流れや フレーズに 気を付けた 表現	「たん」と「う ん」によるリズ ム表現と、4拍 のリズムづくり	反復する リズム感 を感じ取 った表現	楽曲に 合った 表現の 工夫	楽曲の気 分にあっ た表現の 工夫

3 本時の指導

(1) 目標 呼びかけとこたえ、速度、旋律、反復を感じ取る

(2) 準備 CD、音楽デッキ、投影機、プロジェクター

(3) 本研究との関わり

本学級の児童は音楽がすきで、音楽が流れると自然に体が動き、楽しんでいる様子が見られる。A児は、音楽が流れると体を速く動かすが、自分にとって気持ちがいいリズムで体を動かしているだけで、音楽を形づくっている要素を感じ取っているとは言えない。

本時では、音楽を聴いて身体表現をすることによって、速度、旋律、反復を感じ取ることができるようにする。また、ゲームや歌を通して、自然に呼びかけとこたえができるようにする。

(4) 指導過程

時間 配分	学習活動	指導上の留意点

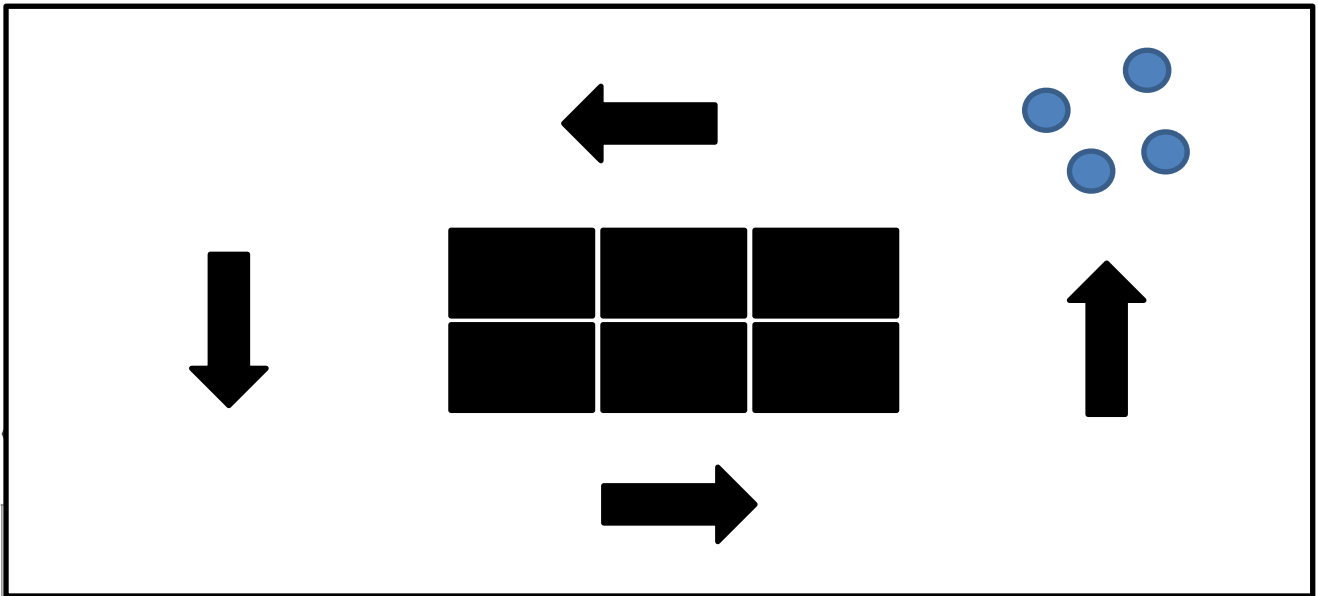
3分	1 本時の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の学習内容を児童に伝える。</li> <li>○ 4つのチャンクに分ける。</li> <li>○ 一つ一つ伝えながら板書し、色分けして囲む。</li> </ul>
7分	2 きょくにあわせてからだをうごかそう (速度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 現在の内容をプロジェクターで映す</li> <li>○ 速度を比較する3曲を伝える。 (道化師のギャロップサンダーバード ぞう)</li> <li>○ 曲に合わせて体を動かす。</li> </ul>
15分	3 呼びかけとこたえ ・かくれんぼ  ・森のくまさん  ・じゃんけん列車	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 速い、普通、ゆっくりを意思表示する。</li> <li>○ もう一度、曲に合わせて体を動かし、確認する。</li> <li>○ 鬼をやる児童を決める。(2名)</li> <li>○ 鬼は自分の決めたリズムや音色で「もういいかい」逃げ方は自分のリズムで「まあだだよ」を表現する。</li> <li>○ 見つかった児童は席に戻る。</li> <li>○ 範唱を聴く</li> <li>○ 1人が呼びかけ、残りはこたえを歌う。</li> </ul>
7分	4 どれみのうた (旋律)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ はじめの一人を決めじゃんけんして列車を作る</li> </ul>
13分	5 リズムとなかよし (反復) ・しろくまのジェンカ  ・おどるこねこ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 森のくまさんを、列車を作りながら、先頭の人が呼びかけ、それ以外が答えで歌う。</li> <li>○ 座席で音階に合わせてポーズをとる</li> <li>○ 立って、その場で音階に合わせてポーズをとる</li> <li>○ はじめ、なか、はじめ(A-B-A)と反復することを伝える</li> <li>○ 「はじめ」は、一人で跳ね、「なか」は連なり、「はじめ」に戻ったところでまた一人で跳ねる。</li> <li>○ はじめ、なか、はじめの動きを考える。はじめの部分は同じ動きをすることを伝える。</li> <li>○ おわりの部分があることを伝え、動きを考える。</li> <li>○ 一曲を通して、曲に合わせて体を動かす</li> </ul>

※T2は、一人で行うことが難しい児童の支援をする

<場の設定>

・・・児童の位置

【曲に合わせて体を動かそう・もりのくまさん・おどるこねこ】



もりのかな  
くまさんに  
であった

もりのなか  
くまさんに  
であった

はなさく もりのみち  
くまさんに であった